

事業の背景・目的

栃木県におけるアメリカミンクの侵入状況及び生息状況は把握されていない。防除の実施にあたっては、住民等への注意喚起や防除を行うべき範囲を明確にしていく必要がある。このため、計画的な防除対策の推進に資することを目的として、センサーカメラによる生息範囲の調査及び捕獲による生息状況調査を実施する。

事業の内容

・センサーカメラによる生息範囲の調査及び捕獲による生息状況調査を実施した。

ア アメリカミンク生息範囲把握調査事業
・那珂川流域において、11月12日から2月28日までセンサーカメラを8台設置し、アメリカミンクの侵入状況を把握した。

イ アメリカミンク捕獲調査事業
・那珂川流域の余笹川及び黒川（栃木県那須郡那須町）において、1月14日から1月30日まで4.7kmの範囲に185～355m（平均246.8m）の間隔で小型箱わな20基を設置してアメリカミンクを捕獲し、生息密度の推定を試みた。
・捕獲個体の分析による繁殖状況の把握を行った。

ウ 調査結果の共有等
・調査結果を関係機関と共有し、アメリカミンクに関する注意喚起を行う。
・さらなる情報収集を行うための連絡体制を整備する。

得られた成果

・アメリカミンクの県内への侵入が確認されるとともに、生息下流限、生息密度が判明した。結果は関係機関と共有した。

ア アメリカミンク生息範囲把握調査事業
・栃木県那須郡那珂川町北部（北向田）までアメリカミンクの侵入が確認された。那珂川町富山より下流ではアメリカミンクは確認されなかった。

イ アメリカミンク捕獲調査事業
・栃木県における生息密度は相当に低いと推察された。
・捕獲個体及び拾得死亡個体の分析を行った結果、栃木県内でもアメリカミンクが繁殖している可能性が高いと考えられる。

ウ 調査結果の共有等
・アメリカミンクの生息が確認された市町及び県関係機関に周知し、各機関において県民に対して注意喚起を行う。
・連絡体制を明確にして情報収集を継続する。